

公園・緑地の充実（3月16日審議）

1 施策の基本方針

市民の快適な生活空間を形成するため、歴史・景観資源を活用した地域住民に親しまれる公園及び緑地の充実を図ります。

2 指標の評価点

2020	2021	増減
1.0	△1.0	△2.0

3 現状分析（課題認識）

- 公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な定期修繕や適切な施設点検による予防保全型の維持管理を行っており、継続が必要である。
- 都市公園及び一般公園については、令和2年度から指定管理者導入による効率的な運営をしており、アンケートでの評価も高い。一方で農村公園については、令和3年度に3公園を都市公園に変更したが、利用状況を調査し、管理コストの縮減に努める必要がある。
- 令和2年度に東光山西側斜面に四季折々の草花や花木が楽しめる新たな観光拠点とするため、検討委員会の意見を聞きながら基本構想を策定し、令和3年度には1工区の伐開・遊歩道設置・花木植栽及び植樹式を行った。概ね5年程度で整備する予定。

4 施策の方向性

(1) 成果の方向性

来年度（2023）	再来年度以降（2024～）
<ul style="list-style-type: none">令和4年度に公園施設長寿命化計画の見直し、総合運動公園のプール改修及びその他公園の遊具更新を行っている。令和2年度から都市公園及び一般公園については、指定管理者制度を導入している。令和3年度から概ね5年程度で東光山花見山整備を行う予定。	<ul style="list-style-type: none">公園施設長寿命化計画に基づき必要な改修を行っていく。東光山花見山整備基本構想に基づき整備を行っていく。

(2) コストの方向性

来年度（2023）	再来年度以降（2024～）
<ul style="list-style-type: none">令和4年度から行う（概ね2年程度）プールの改修工事に多額の事業費を要する。都市公園及び一般公園の指定管理者制度の導入により人件費削減を図る。	<ul style="list-style-type: none">東光山花見山整備事業は、市民や民間団体と連携して維持管理できる仕組みづくりをした上で行い、できるだけ維持管理費がかからないように整備する必要がある。

5 外部評価（行革推進委員会）

(2020年度) 農村公園の統廃合については、利用状況等を見極めた上で判断してもらいたい。

また、公園への指定管理者制度導入に伴うコスト削減について、今後分かりやすく実績を示して欲しい。

6 評価指標

目指す姿	指標名	根拠・算出方法等	評価点	単位		2019	2020	2021	2022	最終	
1 公園や緑地が充実している	公園・緑地を利用している人の割合	行政評価市民アンケート	-1	%	計画		58.0	58.2	58.3	目標	58.4
					実績		58.1	57.4		年度	2023

7 事務事業一覧

No.	事業コード	担当課
1	ふれあいパーク定之段管理事業	道路河川課
2	針原公園管理事業	道路河川課
3	公園維持管理事業	都市計画課
4	公園維持管理事業（長寿命化）	都市計画課
5	公園維持管理事業（施設改修）	都市計画課
6	街路樹管理事業	都市計画課
7	フラワーポット等管理	都市計画課
8	東光山花見山整備	都市計画課